

■社会起業支援サミット 2009 運営マニュアル

文・今一生(社会起業家支援委員会・代表代理)

【企画趣旨】

政治や行政では満足に解決できない社会問題は無数にあります。

その解決のためにビジネスの手法を使って働く「社会起業家」を、日本では8割の人間が知らないでいます。

日本でも約20年前から社会起業家は増えてきているのに、市民の認知度はあまりに低いのです。これには、2つの要因があります。

一つは、新聞社やテレビ局などで働くマスメディア従事者の不勉強。

もう一つは、社会起業家を語ってきた人たちのセクト主義です。

報道関係者は、ネタ(報道価値を持つニュース)であれば動きます。

だからこそ、ネタになりうるイベントが必要です。

むしろ問題なのは、100人未満の集会をちまちまと続けてきたり、数万円の参加費を徴収して社会起業についてレクチャーしてきた人たちです。

中学生からおばちゃんまでが社会起業家の存在を知ってときめき、素直に支援したい気持ちを引き出す上で、従来の社会起業関連イベントはあまりにも無力でした。

社会起業家は、「この問題を解決したい」「だめな社会を変革したい」という志と行動によって、それまでなかった解決の仕組みを実現してきました。

それは、社会問題の解決を政治・行政が独占してきた時代から、市民自身が自分たちの問題の解決のために働く時代への潮流を作ってきたともいえるのです。

音楽でいえば、自作自演を当たり前にしたビートルズや、テクノポップを作ったYMOのような「変革者」です。

(実際に、アメリカではパンク・ミュージシャンから社会起業家になる人もいます)

なぜ、欧米であればそれだけポップな存在が、日本では大学の先生や財界の一部でしか話題にならず、10代をわくわくさせるものとして認知されないのでしょうか？

答えは簡単です。

市民感覚から遠いところで語られてきたからです。

社会起業家を少しでも知っている、あたかも「みんなが知っている」「盛り上がっているシーンだ」と思いがちですが、現実とは違います。

社会起業家を語れる場所に居合わせる人たち自身がその内側で盛り上がっているだけで、その外側へアピールすることに真剣になってはいないのです。

そこで、僕は「社会起業って面白そう」と感じていながら詳細はよく知らないでいる10代・大学生を中心に呼びかけ、2008年6月に「社会起業家支援委員会」を発足し、10代自身に代表を務めさせ、運営を任せ、彼らを後方支援できる大人たちを組織して機動力を高め、7月には東京・早稲田大学の大隈講堂でイベントを行いました。

<http://www.president.co.jp/pre/special/interview/7086/>

市民自身が主体となるイベントであることから、あえて「サミット」と名付けました。地元を活性化させるのは市民であり、市民自身が重要人物だからです。

そして、全国から社会起業家10団体を0円で招くと同時に、市民300人を動員したのです。

市民にとってわかりやすく、また楽しく社会起業家の働きを知ってもらうために、各団体に15分間だけのプレゼンテーションをしていただきました。

映像や図版をスクリーンに映したり、マイクで端的に説明してもらうと、市民たちはフランクなりアクションで笑ってくれたり、賞賛の拍手をしてくれました。

また、市民300人を動員させたという事実は、学生にも社会人スタッフにも達成感をもたらし、当日の様子や活動趣旨を後日Youtubeでアップすると同時に、各団体へのインタビューもブログ記事でアップしました。

<http://www.cccjp.org/blog/?month=200812>

こうした活動の全容は、下記のブログで読めます。

<http://www.cccjp.org/blog/?eid=21>

参加するだけで社会起業家を支援する仕組みを設けることで、それまで社会起業家についてさほど関心を持っていなかった市民も、その後、社会起業家と一緒に活動していくという流れもできました。

こうしたソーシャル・アクションを全国に広げていくために、運営マニュアルを開陳しますので、ぜひあなたも地元で**「社会起業支援サミット in ○○」**を開催しませんか？

どんな街にも10団体以上の社会起業家が既に活躍しています。

ぜひ地元の人材を市民が支援するという仕組みを作ってみませんか？

300人の動員、できない理由を挙げるより、できる方法を探しませんか？

【社会起業支援サミット 2009 の運営マニュアル】

□志を同じくする仲間を集める：自発性を大事に

「社会起業支援サミット 2009」(略称：サミット 2009)のファースト・アクションは、あなた自身がブログを作成し、サミット運営のスタッフ募集を呼びかけることです。

つまり、「**社会起業支援サミット 2009 in〇〇**」(〇〇は地元の都道府県名)というブログを作り、一緒に運営する仲間を募るのです。

最初の呼びかけ文は、下記の文面で十分です。

「失業、地域再生、農業再生、環境問題…。政治や行政が満足に解決できないそうした社会的課題に対して、ビジネスの手法で解決しようと働いているのが、社会起業家です。しかし、日本人の8割が彼らの存在を知りません。そこで市民が地元の社会起業家を支援し、彼らの働きをより多くの市民に知ってもらうためのイベントを全国47都道府県で開催することにしました。ぜひリンク先を見てください。そして、運営スタッフに参加してください。<http://www.cccjp.org/>」

運営ブログには、記事の外側の欄の上部に、お問い合わせのメールフォームもしくはメールアドレスを明示し、プロフィールに必ずブログ管理者の名前と自画像、プロフィールをはっきり書いてください。

どんな人がやっているかわからないと怪しげに見えるので、スタッフが増えません。

CCC ブログで公開されている他県のブログを参考にしながら運営ブログを作成したら、スタッフを募るために下記のような作業を行ってください。

以下、「静岡県」を例に作業を説明します。

★mixi のコミュニティ検索で「静岡県」を入力すると、静岡県のコミュニティがいっぱいあるのがわかります。そこで「メンバー数順」で一番登録者数の多いコミュニティに入り、スレッドを新設して「社会起業支援サミット スタッフ募集」というタイトルで、上記の文面を書くのです。もちろん、地元の運営ブログも書き足してください。

★mixi コミュニティ「社会起業支援サミット 2009」に入り、静岡県のスレを探す。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3948460

このコミュニティには、スタッフの集め方や、他県のスタッフ動向などの最新情報が続々と入りますので、まめにチェックしてください。

http://mixi.jp/view_bbs.pl?id=41244972&comm_id=3948460

(※上記は「スタッフの集め方」スレッド)

★運営ブログへのリンクを知り合いのブログや mixi 日記に貼り付けてもらうよう、友人・知人・マイミクにメールやメッセージを送りましょう。

★学生であれば、同じ大学のコミュニティを探してスタッフ参加を呼びかけたり、同じ県内の大学やこのマニュアルにあるタスク(スタッフの仕事)に関係する専門学校などのコミュニティなどでも呼びかけてみましょう。

静岡の場合、「静岡」「大学」の2つの言葉で mixi コミュニティ検索をすると、同県内の大学のコミュニティがいっぱいあるのがわかります。

こうした広報活動で大事なものは、社会起業家に関する知識の多さではありません。もちろん、ミーティングでは社会起業家に関する共通認識を持ち、イベント開催の意義を共有することが必要となります。

そのため、社会起業家に関する基礎知識が不安な場合は、下記をよく読んでおいてください。

<http://gogo-socialventure.blogspot.com/>

しかし、スタッフを集める際に重要なものは、むしろそれぞれのタスク(役割)を担えるスキル(技術)であり、それに対する自発性です。

たとえば、イベントのホームページを作るのが朝飯前の人がいたら、「私たちと一緒にやってみませんか？」と声をかけてみるのです。

「やってもらえませんか？」「協力してください」「手伝ってよ」ではありません。

そして、大学生や短大生、専門学校生、NPO 従事者、何かしたくてウズウズしている若者の集まりなどのブロガーに声をかけ、20 名程度が集まるキックオフ・ミーティングを4~5月上旬頃までに行い、地元の運営委員会を組織してください。

「金儲けではなく、困っている人の問題を解決するために働いている社会起業家を君の力で支援することができるんだよ」という仕組みを伝えて、そこに意気を感じられる人にこそスタッフ=仲間=同志として参画してもらうのです。

サミット 2008 では、下記のようにスタッフになった人の名前と顔を公開しました。
<http://www.cccjp.org/2008/ccc.html>

こうすることで、スタッフ各自に自分のタスクの内容とそのタスクがイベントを支える意義を理解してもらおうと同時に、タスクに対する責任を持ってもらうことにしたのです。

スタッフが集まり、タスク分担ができれば、あとはリーダーを決めるだけです。

サミット 2008 では、最年少の 18 歳の大学 1 年生の女子学生が自らリーダーに名乗り出ました。

最年少だからこそ、年長者のスタッフはみんな彼女をサポートしようと動いたのです。これはトップダウンではなく、ボトムアップの運営スタイルです。

彼女はイベントをしたことがありません。なので、各タスクのスタッフの進行状況をチェックし、×切を設定し、数値目標の達成度を逐次見ていくのが彼女のタスクでした。

それでも、ちゃんとイベントが運営できたのです。

僕は彼女に言いました。

「君の仕事は、『わからない』と言うことだよ。進行状況がわからない、当日の司会を誰がやるか決まってなくて困ってる、など、自分が不安に思ったことを口にして、みんなに解決を求めていくこと。そして、それをちゃんと×切までに明確にし、最終的に決断していくこと。それで組織は十分回るから」

大人のスタッフがフォローに回れば、あとはなんとかなるものなんですね。

なので、イベントの発起人と運営リーダーが異なっても問題ないのです。

むしろ、より若い人材を前に出したほうが新聞やテレビの取材ウケがいいんです。

大人たちは機動力の高い若者たちをフォローすることを学びましょう。

当日の映像機器のオペレーションや渉外など、大人の出番は他にもありますから。

□「社会起業家」に対する共通認識

ミーティング・スタッフ全員がまず始めるべきは、地元どんな社会起業家団体があるのかを調べることです。

とりあえず、団体名と公式サイト、活動内容を洗い出し、リーダーが責任を持って市民に紹介できる 10～15 団体を絞っていきます。この作業は 1 か月以内で済みます。

一口に「社会起業家」といっても、その姿は事業型 NPO、株式会社、LLP、社会福祉法人などさまざまです。

そこで、次のような線引きをしながら、候補を 10 団体に絞っていきます。

- ★従来型の寄付金 100%による運営ではなく、収益事業を自ら開発している
- ★営利があっても、営利優先ではなく、問題解決優先で資金を運用している
- ★寄付収入 100%でも、コスト・パフォーマンスの良い解決行動を創出している
- ★専従スタッフの生活と同等か、それ以上に社会的弱者を守っている
- ★従来にないユニークな仕組みを作って問題の解決に従事している
- ★これまで放置されていた社会的課題にユニークな解決手段で取り組んでいる
- ★団体自身がボランティアや賛助会員など、市民からの支援を求めている

以上の基準を参考に 10 数団体にまで絞ったら、各団体に参画を打診します。

抽象的な「社会貢献」の企業ではなく、社会的弱者を救うような具体的な活動を続けており、「儲けと解決なら、解決を迷わず選ぶ」社会起業家を優先的に選びます。

貧乏を怖がらず、勇気を出して社会事業を作る人を選びます。

中には、運営委員会に「出演させてほしい」と売り込んでくる「自称・社会起業」の方もいますが、上記の基準に照らして判断しかねる場合は、CCC 本部にその団体のホームページなどの資料を添えて、お問い合わせください。

サミットに出演いただいても、社会起業家に謝礼も交通費も出しません。

お金の代わりに、お金以上に価値のある具体的な支援を献上します。

☆サミット本番前に、社会起業家のニーズに合った内容を無料レクチャーさせていただきます。

☆サミットでは、市民 300 人に社会起業家 10 団体が自らの活動と「今欲しい支援」について各 15 分プレゼンテーションしていただけます。

☆サミット終了後に志ある市民と社会起業家との少人数による「カフェ・ミーティング」をセッティングし、インターンやスタッフ候補のブッキングにつなげていきます。

☆参加した市民 300 人分の連絡先・人脈などのデータを社会起業家 10 団体に提供します。

☆新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、ネットニュースなど報道関係者の取材をブッキングし、社会起業家への関心と認知を拡大させます。

☆サミット終了後も各団体の活動をブログでインタビュー記事を紹介したり、サミットで撮影したプレゼン映像を Youtube などの動画共有サイトにアップして広報を支援します。

上記を口説き文句にして、「お金は出せませんが、出演してみませんか？」とメールで打診するのです。

団体自身がサミットを必要と感じてくれた場合、快諾してくれるでしょう。

社会起業家も市民の一人ですから、「願います」のではなく、「市民として社会起業家の認知拡大のために参画してほしい」と言えばいいだけです。

サミット 2009 は、7 月末を予定しています。

サミットの日程と会場の決定は、遅くとも 5 月末までに決まっていれば間に合うと思います。

それまでに出演してほしい団体をリストアップし、優先順位を決め、メールや電話で 7 月末～8 月上旬の予定を尋ね、6 月上旬には 10 団体が決まるようにしましょう。
(※6 月上旬にサミットの全容がはっきりすれば、地元メディアへサミット開催を知らせるのに、十分間に合いますから)

決まり次第、先方にもお伝えして、サミット当日の集合時間、場所、10 分以内の映像・画像などの資料を手配していただくことを確認してください(同時に、会場にパソコンや映像スクリーン、椅子やテーブル、控え室などがあるかをチェック)。

リーダーあるいは発起人は、スタッフが増えていくごとに、「会場リサーチ部長」「ビデオカメラ担当者を探す係」などのタスクをそれぞれに与え、すぐにでも具体的なアクションに動いてもらうと、自分にタスクが集中せずに済みます。

タスクを指示する場合は、たとえば「〇月〇日までに 5 つくらいの会場候補をリストアップし、メールで伝えて下さい」という具合に、わかりやすくタスク内容と×切を説明してください。

最終的に 10 団体が決まったら、運営ブログで発表すると同時に、社会起業家の方々をお迎えする専従担当スタッフを決め、事前のインタビューやビデオ撮影などに動きます(※インタビューは 20 分以内にしてください。Youtube は 1 つの動画に 5～10 分以内でないとアップデートできません)。

インタビューでは、次の質問を投げかけ、インタビューが納得し、他の人に説明できる程度まで具体的に聞き出してください。

- ▲どんな社会的課題があるのか？：(例)髪が抜けて就職に困っている
- ▲どのように解決に動いているの？：(例)安いカツラを個別に商品化している
- ▲支援された側からのエピソードは？：(例)就職できて親も安心
- ▲今、市民から支援されたい点は？：(例)ボランティアスタッフ、広報ノウハウなど
(※市民には、財界人、専門的なスキルの持主、研究者、専門家、マスコミ関係者、資金調達のプロなどが含まれます)

□HP 立ち上げとML: ディスカッションはML、デシジョンはミーティング

5月末までにレギュラー・スタッフがあらかた見えてきて、社会起業家10団体の参加の内諾がとれたら、スタッフのミーティングは6月くらいまでは週1ペースで十分です。

そこでは、各タスクの進行状況の確認と、スタッフ間のコミュニケーション、スタッフの増員などに対処するために集まりますので、メーリング・リストを作っておくといいでしょう。

メーリング・リストで議題を明らかにし、ミーティングでは具体的な議題を逐次検討し、議決していくといいでしょう。

みんなで決めるべきことと、リーダーがどんどん進めていいことを区別し、動けるものからどんどん動いてみましょう。

なお、サミット2008の場合、ミーティング場所は主に喫茶店でした。

当日から1か月前にやっと早稲田大学のキャンパス内の教室を0円で借りてミーティングをやっていたぐらい、団体としての出費はしませんでした。

ただ、定期的に0円で集まれる教室や場所があれば、捜しておきたいところです。

□場所の選定: 無料開催を前提に

サミット2008では、早稲田大学の大隈講堂を当日の会場として借りました。

本来、大隈講堂でのイベントにはお金がかかります。

そこで、社会起業に理解のある早稲田大学の教授にお願いし、「主催」を早稲田大学の学内機関である「インキュベーション推進室」であるという具合に、表向きは大学主催のイベントであることにしました。

もちろん、大学側には書類を提出することになりますが、公式サイトでも主催者を早稲田大学にしておき、運営者として「社会起業家支援委員会」という任意団体が行うという形にしておけば、実質的に0円で借りられるわけです。

同様の仕組みは、どんな大学でも、あるいは公共機関でもできるはずですが。

なので、社会起業に関心のある教授を探し、学内のイベントとして広く市民に開かれたものであることを訴えてみてください(※公立より私立のほうが話が早いです)。

また、その場合、たいていは無料入場が条件になることが多いので、コストをかけずにやることを心がけてください。

サミット 2008 では、スタッフに県外から打ち合わせに来る学生が多かったため、彼らの交通費や打ち合わせ飲食費などを補てんしたほかは、当日のスタッフ腕章(※100円ショップの商品)やデジタルビデオテープ代などにしかお金をかけていませんでした。

それでも、20万円弱ほどは赤字になりそうだったので、公式サイトへの広告収入(※バナー1年間で10万円)と寄付10万円を1社から調達しました。

この程度のお金は、地元のベンチャーやベンチャー社長のポケットマネーからでも補足的に充填できるはずですが(→この資金調達の専従スタッフを決めてください)。

少なくとも社会起業家には、なるだけ時間やお金の負担をかけないことをスタッフ全員で心がけてください。

□午前中の「無料レクチャー」について

社会起業団体にヒアリング(取材=インタビュー)をする際に、「今、どんな支援を市民から取り付けたいですか?」という質問を投げかけておくと、社会起業家が知りたい内容をレクチャーすることができます。

昨年度の東京では、「私たちの活動を多くの人に知ってほしい」というリクエストが多かったので、どんな活動をすれば、新聞やテレビなどのマスメディアが取材したくなるのかについて『取材される技術』と銘打ったレクチャーを、今一生が無料で行いました。

今年は全国開催なので、地元の社会起業家が知りたい内容は地域によってそれぞれ違うと思います。たとえば、「とにかくボランティアスタッフを集めたい」というリクエストが多いのかもしれませんが、「広報のプロを専従スタッフに雇いたい」というニーズかもしれません。

いずれにせよ、それらのリクエストに対して講演できる人材を大学の教授クラスあたりに相談してボランティアでの講義をお願いするといいでしょう。

午後からのサミットの会場とはべつに小会場を予約して実行したいところです。

無料レクチャーの代わりに、社会起業家やその志願者、NPO 関係者だけが参加できる交流会を催して、お互いの持っているリソース(=スタッフ、資金、事務所などの資源)をシェアできるように、その場でブッキングできるような名刺交換会をしてもいいかもしれませんし、午後のプレゼンの予行練習のように自己紹介を各団体で行ってもらうのもいいかもしれません。

午後からのサミットは市民が観客になり、CCC 本部がメール予約を取り仕切りますが、この午前中の集まりは各地の運営委員会が独自にメールフォームを用意し、関係者のみ 50 名程度が集まれる小さな集まりにしてください。

前回、『取材される技術』を無料レクチャーするとネットで発表したら、金儲けがしたい人がわんさか問い合わせがありました(もちろん、そういう人は参加を断りました)。

サミット全体の趣旨は、あくまでも「社会起業家を支援する」というものなので、社会起業家とその志願者なら、それまでに何らかのソーシャル・アクションを行っているはずなので、その経験を教えていただいたうえでメール予約者を厳選しました。

ぜひ、あなたの街で午前のプログラムを組む際も、社会起業家にとって有益な集まりにしてください。

□サミットの概要: 当日のシミュレーション

サミット 2008 は、以下のようなタイム・スケジュールで行われました。

<http://www.cccjp.org/2008/event.html>

A: プレイイベント「無料レクチャー★取材される技術」(別会場)

AM9:00/スタッフ集合、会場準備

AM9:30/開場、社会起業家 & NPO の方々の入場

AM10:00-12:00/レクチャー

B: サミット本番 PM1:30/開場

PM2:00/スタート&挨拶

PM2:10-2:25 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM2:25-2:40 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM2:40-3:05 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM3:05-3:30 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM3:30-3:45 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM3:45-4:00 休憩

PM4:00-4:15 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM4:15-4:30 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM4:30-4:45 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM4:45-5:00 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM5:00-5:15 社会起業家の 15 分間プレゼン

PM5:15-5:20 カフェミーティングの案内・説明・ナビゲーション(団体別に集め、外へ)

PM5:20-5:30 撤収

C: カフェミーティング(近隣のカフェ 10 店舗で)

PM6:00-8:00 終了後、解散。

※PM9:00~ スタッフ & 社会起業家だけの打ち上げ

以上でおわかりのように、社会起業家の方々には遅くとも正午頃までには会場の楽屋に入っていたいただき、映像機器のオペレーションのチェックをしていただき、15 分の持ち時間のうち、最後の 1 分でまとめてもらうなどの説明を済ませ、すぐに次の講演者につなげられるように準備をしました。

もちろん、会場の最前列にはタイムキーパーのスタッフを置き、あらかじめ用意していた「あと1分」「終了」というスケッチ帳のカンペを見せて、ステージの司会者に時間通り進行するように仕切らせたので、時間通りに撤収できました。

カフェミーティングには、それぞれ引率のスタッフがつき、サミットに参加した市民から希望者をあらかじめ予約しておいた店に10人程度を引率しました。

□スタッフワークの分担:IT、広報、当日運営、渉外、営業、企画、記録

以上のように、サミットの運営には、いろんなタスクのスタッフが必要です。

それぞれのタスクを下記にまとめておきます。

スタッフ志望者と出会ったら、即日に各班長を決めて進めてください。

★企画

サミット2008では、地元の社会起業家やNPOの方々が、自分たちの活動を広報し、寄付や助成などの資金調達につなげられるように、新聞社やテレビなどのマスメディアから取材されるためのレクチャーを無料で行いました(限定50名が満席でした)。

これは、あらかじめ10団体に「どんな支援を求めているか」というヒアリングを行った結果、「活動を多くの人に知ってほしい」という声が多かったため、行ったのです。

この「企画」の係は、サミットのイベントとして社会起業家に対して彼らの求める支援を一つでも実現しようとするものです。

なので、社会起業家のためになるのであれば、どんな内容の「無料レクチャー」でもいいですし、県内の助成金担当者からの「こんな人に助成したい」というレクチャーでもいいでしょうし、ファンドレイザーによる講演でもいいでしょう。

あるいは、単純に集まったNPO関係者や社会起業家の方々だけの名刺交換会でもいいと思います。

イベントなので、対象は一般市民ではなく、社会起業家、NPO団体、あるいは彼らへの寄付や共同を求める企業人、行政マンでもいいでしょう。

企画内容によって社会起業家にメリットのある集会を開いてみてください。

レクチャーする講師を探し、無料での講演を交渉するのも企画の仕事です。

★IT

この係は、ズバリ、「社会起業家支援委員会 in〇〇」の公式サイトやブログ、スタッフ間のML(メーリング・リスト)を作って運営する担当者です。

少なくとも、下記リンクのような仕組みをweb上で構築できるスキルが必要です。

<http://www.cccjp.org/2008/entry.html>

サイトの運営者は、少なくとも2人以上いることが望ましいです。

高校生や大学生でもできるので、特別に社会起業に関心がなくても、出来る人を探してお願いするといいいでしょう。

というのも、ログイン・パスワードが2名くらいに共有されていないと、機動力を発揮して情報をアップすることができないからです。

また、登壇していただける社会起業家10団体に対してあらかじめインタビューした記事をブログ上でサミット後に発表する際にも、インタビュー記事のアップデートを担当するのもこの係ですから、早めにサイトを構築し、運営団体のアドレスを設け、問い合わせにに応じられるようにしてください。

なお、サミット2009の公式サイトソースをコピーして使用しても構いません。(ただし、そちらでの情報に合わせて、問い合わせ先もそちらにしてください)

<http://www.cccjp.org/>

★広報

サミット2009の地元開催をいろいろな市民に広報し、参加を呼びかけるのがこの係です。

最初の仕事は、公式情報として公式サイトにこのサミットの趣旨を掲げ、参加者やスタッフを募ることです。

そして、サミット(7月末)のために、5月末頃から地元のテレビ番組、ラジオ番組、新聞社、タウン誌、フリーペーパーなどの連絡先を調べ上げ、日時・場所が決まった6月からはそれらのメディアに開催告知や取材をお願いして回るのが仕事です。

マスメディアだけでなく、市報だよりや、社会起業を教える大学の先生、校内放送の担当者、地元のブロガー、NPO関係ミニコミ誌などにも連絡をとり、サミット2009の地元開催を幅広く告知していきます。

この際、メールで告知するのはもちろん、新聞社やラジオ局などにはファクスでサミット2009の概要を伝えると同時に、アポをとってディレクターや新聞記者に会いに行ってください。

ダメもとで積極的に売り込んでいけば、必ずメディアで取り上げてもらえます。

地元の新聞だけでなく、朝日新聞のような全国紙なら県内向けページの記者にも連絡を取ってみましょう。

高校時代の社会科の先生と連絡をとって、社会科の教職者たちたちのメーリングリストなどで告知してもらったり、大学の社会学系のサークルにも声をかけてみるのもいいでしょう。

また、フライヤーも0円で印刷してくれる場所を大学などで探してみましょう。

告知チラシの PDF 版を公式サイト上からダウンロードできるようにして、県内のどこでもそれをコピーして配布してもらえよう、呼びかけてみましょう。

さらに、自分の住む市内だけでなく、市外の大学や NPO 関連団体、社会起業関連イベントの主催者にもメールや電話で広報の協力をとりつけましょう。

相手のホームページやブログにリンクを貼ってもらえようをお願いしてみましょう。

広報は、選挙戦と同じです。メール予約で定員までの人数が見えますから、ぜひ当日前夜までに 300 人を集めてみてください。

サミット 2008 では、「社会起業」でヒットするブログの執筆者には全員そのブログにコメント欄で告知しましたが、スパムとして嫌がられた例はほとんどありませんでした。

★当日運営

当日の運営スタッフには、全体の指示を出す統括ディレクター・司会・タイムキーパー・舞台設営・受付・楽屋担当・客席係などの 10 名が必要です。

統括ディレクターが当日の運営全体を仕切るとして、司会には台本作成、タイムキーパーにはタイマーなどが必要です。

舞台設営は、当日の流れを把握し、スタッフの腕章や団体名を書いたノボリ、椅子の移動、映像機器のオペレーションを担当します。

受付係は、あらかじめメール予約のあった人を優先的に入場させ、予約していない人には予約フォーマットと同じ項目を書かせた上で入場させます。

当日は混雑するため、受付係には 2 名以上が必要です。

客席係は、席の最前列から座らせ、空いた席を誘導して埋めるのが仕事です。

楽屋担当は、社会起業家を楽屋に案内し、お茶でもてなしたり、ブログ向けのインタビューをするのが仕事です。なので、デジタルカメラによる撮影も行います。

また、サミット終了後にカフェミーティングの各カフェに引率するために 1 店舗 1 人のナビゲーターが必要です。

そのスタッフは、社会起業家と一緒に市民 10 人をカフェに引率するために、あらかじめ近隣のカフェを予約しておく必要があります。

★渉外

サミットにお招きする社会起業家に参加の交渉を行うのが、この係です。

10 団体まで絞ったところで団体の代表者に連絡を取って会いに行き、15 分間のプレゼンテーションを行ってもらえよう、話をしてみてください。

これは、日時・会場が決まったと同時に行っても構いませんが、ぜひ出演してほしい 5 団体ほどは詳細が決まる前に内諾を取っておくといいでしょう。

渉外担当は、10 団体が決まり次第、当日、団体の方々を楽屋に案内したり、インタビューしてブログにアップするなどの仕事を兼務するといいいでしょう。

なので、2～3名の専従スタッフが必要です。

★営業・経理

イベントを運営するだけでも交通費や打ち合わせの飲食費など、若い人にとっては大きな個人的出費が重なり、活動が難しくなるという困難があります。

そこで、交通費の精算や活動に必要な備品の購入費の領収書を各スタッフに徹底させ、それを賄えるだけの資金(せいぜい20万円程度)を地元のベンチャー企業や自治体、財団などからスポンサーしてもらえるよう金策に走り、同時に活動費の節約を常に考えて解決に動くのがこの係です。

スタッフ全体の個人的出費をミーティングのたびに把握しておくと同時に、なんとか20万円程度を集められるように動いてみてください(サイトから寄付も募集)。

そして、サミット終了後の反省会では精算を終わらせると同時に、収支報告をしてください。

★記録

これは、当日のサミットの様子をデジタルビデオカメラで撮影し、Youtubeにアップしたり、ブログで活動状況をデジタルカメラによる画像をアップする仕事です。

ビデオカメラは2台あると、編集する際に楽しい映像ができます。

編集できる人が撮影できることが望ましいので、映像の専門学校や映像学科のある大学に通う学生などをスタッフに入れてみてください。

画像(静止画)のカメラマンも専従者として2名以上確保し、スタッフの画像をカッコいいものに仕上げてください。

ライター、カメラマン、ディレクターになりたい学生に呼びかけると、どんどん動いてもらえると思います。

★リーダー

以上のタスクが班長ごとに回っていけるように、どのタスクをいつまでにやるのかをチェックし、×切までに運営を進行させるのがリーダーの仕事です。

また、わからないことはわかるようにすることと、全体の動きが本当に「市民が社会起業家を支援できるアクション」になっているかを確認すること、そして各タスクで足りていないアクションで自分でも進められることを後押しするのもリーダーの仕事です。

各班のアクションを俯瞰してみることで、何が足りないかを発見し、解決することが仕事なので、最年少リーダーと社会人スタッフが各班長を挟んで協力する形をとってください。

なお、各タスクを指示する際は、×切と具体的なアクションを決めてください。

ミーティングでは必ず最後に、次回のミーティングまでに各自が何をやるのかについて具体的なタスクを確認し、着実に目の前の課題を解決して進んでください。

不明な点や困った点は、早めに CCC 本部にメールや電話で相談してください。

全面的に支援します。

□当日の動き:カフェミーティング

カフェミーティングは、サミットに参加してくださった社会起業団体の代表者と、彼らに賛同した市民 10 人が同じ店に集まって、より深い話をするチャンスです。

そこでインターンになったり、その後の活動に参加するなど、社会起業家を支援する市民を一人でも増やすチャンスを作るのです。

なので、カフェの 2 時間は、ナビゲーターのスタッフが司会役になって、社会起業家と市民をつなげてください。飲食費は各自の負担です。

カフェが近隣に 10 店舗ない場合は、サミット会場から遠くない公民館などを利用しても OK です。

ミーティングの後でスタッフ打ち上げを行う場合は、ぜひ社会起業家の方も招くといいでしよう。

□アフターフォロー1:団体へのインタビューをブログ記事に

サミット 2008 では、社会起業家に事前に(もしくは当日に)インタビューした内容をブログでアップし、その団体の活動をネット空間で広めるお手伝いをしました。

<http://www.cccjp.org/blog/?month=200812>

ブログならトラックバックや ping 送信によって社会起業家の存在をもっと広くもっと長きにわたって広報することができます。

47 都道府県でこれを行えば、10 団体 × 47 団体 = 470 団体を広報できるほか、それらのブログの閲覧者が 10 人だとしても 4700 人に社会起業家の存在を知らしめることができます。

なので、必ずブログでのインタビュー記事紹介を忘れずに行ってください。

サミット当日よりも先に行っても OK です。

作り次第、URL を教えてもらえれば、サミット 2009 のサイトからもリンクを貼ります。

<http://www.cccjp.org/>

□アフターフォロー2:参加団体へ参加市民のデータを提供

市民 300 人を動員したら、メール予約の段階で集められなかった当日参加者の市民のデータを、サミット終了から 1 週間以内に CCC までメールでお知らせください。

CCC 本部が作るメール予約フォームには、300 人分のデータには、その人の属性・職業・人脈・メールアドレスなどが含まれています(※6 月未明に公開)。

社会起業家は、そのリストをもとに顧客リストを作ったり、メールマガジンの読者にしたり、スタッフを募ることもできます。

なので、必ず市民 300 人の動員が必要なのです。

CCC で集計したデータは、各地の運営者に送りますので、あなたの街のサミットに来てくださった社会起業家団体にそれぞれ届けてください。

以上、簡単にマニュアルを作成してみました。ご不明な点がありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

少なくとも、自分一人で課題を抱え込まないで、困ったらすぐに相談してください。

こちらが全面的に支援する以上、課題はすぐに解決できますから。

社会起業家支援委員会 代表代理 今一生

conisshow@gmail.com